

# 利 用 報 告 書

|   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 課 題 名   | 社会心理学に於けるデータ処理                        |
|   | Analysis of social psychological data |
| 利 用 者 名   | 高田利武 (社会学部社会学科・教授)                    |
| <p>1. 研究目的・内容</p> <p>SPSSを用いて、社会心理学実験および調査の統計処理を行なう。</p> <p>2. 研究方法・計算方法</p> <p>SPSSにより、因子分析、多要因分散分析等の統計処理を行なうべき処、社会学部に導入されたSPSS FOR WINDOWSを使用する機会が激増した為、センターのSPSSを使用するケースは激減した。</p> <p>3. 研究成果</p> <p>①自己認識における社会的比較の機能の発達の検討</p> <p>②日常事態における青年・成人の社会的比較の様態</p> <p>に関して、観察および調査データを分析し、興味ある知見を得た。<br/>(但し、SPSS FOR WINDOWSによる成果を含む。)</p> <p>4. 発表・出版実績</p> <p>①高田利武ほか 心理学研究 1995年8月</p> <p>②高田利武 日本社会心理学会 1995年9月</p> <p>③高田利武 日本グループ・ダイナミックス学会 1995年11月</p> <p>④高田利武 奈良大学総合研究所報 1996年2月</p> <p>⑤高田利武ほか 奈良大学紀要 1996年3月</p> |                                       |